

「まかせんさい」 広島市女性農業士 ～ 研修をふりかえって～

第8期第2号

(平成23年度)

発行:平成24年3月 (財)広島市農林水産振興センター農業振興課

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30-12

TEL(082)842-4421 FAX(082)842-2149

第8期広島市女性農業士 修了式



修了証書が授与されました

(左から、大野良江さん、木元千鶴さん、杉田晶子さん)



平成22年6月の市長認定式

平成24年3月16日、第8期広島市女性農業士研修修了式が行われ、戸田理事長から修了証書が授与されました。今後も先輩の女性農業士の皆さんとともに活躍して下さることを期待しています。

2年間の研修内容

1年目 (平成22年度)	2年目 (平成23年度)
6月 女性農業士の心得について 講師: 1～7期広島市女性農業士	4月 広島市農業振興対策審議会について 講師: 広島市経済局農林水産部農政課
10月 表現力の向上について 講師: 話し方研究家 大崎恵美子氏	7月 人の心のつかみ方 講師: 話し方研究家 大崎恵美子氏
11月 市内農業視察 (佐伯区、安佐南区)	10月 農産物加工品の開発・製造について 講師: 甲斐智子氏
1月 女性の視点を活かした地域づくり 講師: 山口大学エクステンションセンター 辰己佳寿子準教授	1月 農業者の確定申告について 講師: 広島北税務署 沖野誠氏
2月 湯来交流体験センター視察 農産加工及び都市農村交流について	2月 岡山市女性農業士との意見交換会
3月 優良事例調査 (神石高原町農業委員会)	3月 優良事例調査 (竹原市竹原町 神田バラ園ほか)

広島市女性農業士とは

広島市女性農業士は、農家女性のリーダーとして広島市が認定するものです。女性農業者の社会参加の促進と、農業者全体の社会的地位向上を目指し地域でさまざまな活動を行なっています。現在23名が認定されています。

研修（1年目）

第1回（6月23日）女性農業士の心得について ～先輩女性農業士に学ぶ～



認定式後、第1～7期の女性農業士から、今後2年間の研修にのぞむにあたっての心構えや、それぞれの地区での活動の様子などを学びました。

第2回（10月28日）表現力の向上について 講師：話し方研究家 大崎恵美子先生

広島市女性農業士として必要な表現力を学ぶために、発声練習、あいさつ、自己紹介のしかたなど、実技を取り入れた研修を行いました。間のとりかたや声の強弱、表情などを実習することで、自己表現の大切さを認識しました。



第3回（11月26日）市内農家視察

広島市内の農家を視察しました。
先輩の女性農業士のほ場や加工施設を見学して活躍ぶりを間近で見ることができ、大いに刺激を受けました。



第4回（1月21日）女性の視点を活かした地域づくり 講師：山口大学イクスアクションセンター 辰己佳寿子准教授



山口県の女性組織活動の事例をきき、地域を掘りおこした女性パワーに胸を打たれました。自分自身や地域について見直す機会にもなりました。

第5回（2月15日）湯来交流体験センター視察



湯来交流体験センターにある特産品市場や農業体験施設を視察し、こんにやく加工を体験しました。地元産品であるこんにやくについて勉強でき、消費者交流や地産地消への取り組みについて考えるよい機会になりました。

第6回（3月15日）優良事例調査 ～神石高原町～

神石高原町農業委員会女性部会の委員と交流会を行いました。地域のためになるならと、新しい事に挑戦している女性農業委員の皆さん。その姿勢に感銘を受けました。



研修（２年目）

第7回（4月18日）広島市農業振興対策審議会について

第7期・第8期女性農業士が、広島市農業振興対策審議会の委員に選任されました。

今後3年間の任期を務めるにあたって、審議会や委員の役割などを学びました。



第8回（7月20日）人の心のつかみ方 講師：話し方研究家 大崎恵美子先生



広島市女性農業士として必要な表現力を身につけるために、人の心に伝わる説明のしかたを学びました。ただ事実を述べるのではなく、自分なりに整理し、聞き手の立場に立って説明することの大切さを認識しました。

第9回（10月11日）農産加工について 講師：甲斐智子先生

農産物加工品の開発・製造について学びました。

季節感や土地柄を大切にし、手作りの良さを活かすこと、自分が食べたいもの、家族に食べさせたいものを作ることの大切さを実感しました。



第10回（1月18日）農業所得者の確定申告について 講師：広島北税務署

農業所得の確定申告について、認定農業者やスローライフ研修修了生などと共に学びました。申告書類の作成方法や電子申告など、役に立つ情報を知ることができました。

第11回（2月8日）岡山市女性農業士との意見交換会

岡山市女性農業士の来訪にあわせて開催された意見交換会に参加しました。

岡山の農業規模の大きさには驚かされましたが、お互い女性農業士として、女性ならではの知恵を出しあって農業を続けていこうと決意を新たにしました。



第12回（3月16日）先進農家等視察 ～神田バラ園（竹原市）他～



竹原市のバラ生産農家「神田バラ園」と、広島県農業技術センターを視察しました。

神田バラ園では、経営主の神田昌紀さんからバラ園経営のノウハウについて伺いました。30代の若い夫婦が活き活きと農業経営をしている様子に、農業を楽しむことの大切さを再認識しました。

修了生のこえ

私たち、直売所でもがんばっています！

安佐北区安佐町で露地野菜を中心に栽培する大野良江さんは、直売所の利点を活かして少量多品目栽培で生産しています。

中区の「ひろしま朝市」にも毎週出店する大野さんは、「消費者との会話はとても参考になる。量販店ではあまり扱わない品目や、季節の野花をあしらった花束など、消費者のニーズに応えられるよう、工夫しながら販売しています。」と語り、常に新しい品揃えに挑戦しています。



佐伯区湯来町で農事研究会の会長を務める木元千鶴さんは、露地野菜や水稲に加え、湯来町特産品の1つ「タラの芽」の生産にも取り組んでいます。

露地では丸オクラやキャベツ、ハウスではトマトなどを栽培し、JAへ出荷するほか地元直売所「きんさい湯の山」でも販売しています。

手がける野菜の中でも「タラの芽は特に湯来町の自慢。連作障害が出やすい作物ですが、仲間たちと協力しながら生産を維持していきたい。」と語る木元さん。

湯来町の農業振興に尽力しています。

佐伯区五日市でイチゴのハウス栽培をする杉田晶子さんは、JAへ出荷するほか、「ひろしま朝市」にも毎週出店して自ら販売しています。

露地野菜も各種手がけるほか、自宅に加工施設を設けてイチゴジャムや漬物などの農産加工にも取り組んでいます。

「お客さんに、おいしいと言ってもらうと元気が出ます。何より安心・安全をお届けしたいので、減農薬栽培を心がけ、直売での品揃えにも配慮しています。」と語る杉田さん、ひろしま朝市でも人気のお店です。

